

# 喬木村誌 目次

## 第七編 近代及現代の政治社会

### 第一章 村の行政

#### 第一節 村の沿革

1 村の字名	三
2 喬木村歴史年表（自明治元年至昭和五〇年）	三
3 明治時代	三
(1) 明治の新政と五カ村時代	九五
(2) 喬木村の成立・村名	一〇六
(3) 喬木村の発足より町村制施行まで	一〇九
(4) 分村問題	一一九
(5) 小学校統合と村治	一二〇
4 大正時代及び昭和年代	一一一
(1) 共有林野統合問題と村行政	一一二
(2) 伊久間天竜川筋の移動による村境の確認	一一四
(3) 喬木村の紋章	一一六
(4) 乗山外山の村境	一二六
(5) 太平洋戦争敗戦と行政の変革	一二六
(6) 村有林野の売却と委託管理と村行政	二二九
(7) 村境を変更した鬼面山附近	三四四

## 第二節 村の行政機構 ..... 一四六

1 役場の位置.....	一四六
2 村の執行機関.....	一四九
3 村議会及び議員.....	一五二
4 各種委員会.....	一六八
5 役場機構.....	一七五
6 部落と行政.....	一七八
7 行政相談委員.....	一七八
第三節 保健衛生.....	一七九
1 医療行政.....	一七八
(1) 衛生委員と衛生組合.....	一八一
(2) 郡医制度.....	一八一
(3) 天然痘対策.....	一八二
(4) 法定伝染病及び隔離病舎.....	一八三
2 村の保健衛生.....	一九六
(1) 乳幼児一齊検査.....	一九六
(2) 健康相談指導.....	一九六
(3) 戰後の村の保健衛生.....	一九六
3 環境衛生.....	一九七
(1) 清潔法の施行.....	一九七

(2) 鼠族及び害虫駆除..... 一九八  
(3) 霧芥及びし尿処理..... 一九九  
(4) 台所及び家屋改善..... 一〇一  
(5) 公害..... 一〇三  
(6) 喬木村村営水道..... 一〇三

4 国民健康保険.....	一一九
(1) 喬木村国民健康保険組合.....	一二九
(2) 国民健康保険制度の経過概要及び事業.....	一二三〇
(3) 成人病、がん等死亡者の推移.....	一二五
(4) 保険給付の状況.....	一二三九

## 第四節 厚生 ..... 一三六

1 福祉行政.....	一三六
(1) 戰前の社会福祉行政.....	一三六
(2) 戰後の社会福祉行政.....	一三七
2 社会福祉 社会保障の状況.....	一三八
3 喬木村の保育所.....	一四〇
4 喬木村母子健康センター.....	一四二
5 民生委員・児童委員・保護司.....	一四四
6 福祉関係団体.....	一四五

## 喬木村老人クラブ連合会 (1) 一四五

## 日赤奉仕団・他諸団体 (2) 一四五

## 第五節 村の消防と警察 1 消防の沿革 (1) 一四六

### 組織の変革 (2) 一四六

### 活動の範囲 (3) 一四七

### 受賞 (4) 一四八

### 装備 (5) 一四九

### 歴代組頭・団長 (6) 一五〇

### 警察 (7) 一五一

## 第六節 戸数・人口の推移 1 喬木村発足前の戸数と人口 (1) 一五一

## 2 村の人口の動き (2) 一五二

### 人口の増減 (3) 一五六

## 4 喬木村の人口構成 (4) 一五七

## 第七節 村の財政 1 民費 (1) 一六〇

## 2 税制度の変遷 (2) 一六一

### 地租改正以前 (1) 一六二

### 地租改正 (2) 一六四

### 地租改正以後の税制度 (3) 一九六

### 村の財政と予算 (4) 一九八

### 明治前期の村の財政と予算 (5) 一九八

### 明治後期の村の財政と予算 (6) 二〇二

### 大正時代の村の財政 (7) 二〇八

### 昭和初期～戦前までの村の財政 (8) 二一〇

### 戦後の村の財政と予算 (9) 二二三

### 昭和三四年度 地方財政再建促進特別措置法による (10) 二二六

### 村財政の再建並以後の財政の推移 (11) 二二六

## 第一章 産業

## 第一節 明治以後の村の産業概況 1 明治時代 (1) 三一八

### 2 大正時代 (2) 三一八

## 第二節 農蚕業 1 昭和初期 (3) 三三一

### 2 戰後産業 (4) 三三三

## 第三節 その他 1 1945年～1950年 (1) 三三三

1 地勢風土の概況	二三七
2 農業用水	二三八
(1) 竜東井	二三八
(2) 小渋川一貫水路	二三八
(3) 村内各河川水系井	二四三
(4) 村内の灌漑用堤	二四五
3 農業の変遷	三四七
(1) 米麦類主体農業より養蚕主体へ	三四七
(2) 農業の戦時体制と敗戦	三四九
(3) 戦後農業の動向 機械化、農村変貌	三五〇
4 稲作及び雑穀	三五五
5 養 蚕	三五九
6 果樹園芸	三六八
7 畜 産	三六九
8 養 鯉	三七三
<b>第三節 商工業</b>	
1 工業の変遷	三七四
(1) 製糸業	三七八
(2) 阿島傘	三八二
(3) 富田絹	三八七

3 2 商業	二八七
3 喬木村商工会	二八九
一般事業	三九〇
普及事業	三九〇
<b>第四節 明治以降の村の林政と林産</b>	三九一
1 喬木村の山林と林政	三九四
(1) 喬木村林野面積と現況(昭和五〇年三月)	三九四
(2) 造林事業の概況	三九七
(3) 林業構造改善事業	三九九
(4) 荒廃地復旧事業	四〇一
(5) 国有林	四〇五
2 林 产	四〇六
(1) 木 材	四〇八
(2) 製 炭	四〇九
3 喬木村森林組合	四一〇
<b>第五節 土地開発と整備</b>	
1 土地開発	四一二
2 総合開発	四一三
3 喬木村の土地改良並びに	四一四
農業構造改善事業	四一四

(1) 土地改良事業	四一四
(2) 第一次農業構造改善事業	四一四
(3) 第二次農業構造改善事業	四一六
<b>第六節 農地改革</b>	
1 農地改革以前の農地制度	四二二
2 農地改革	四二三
3 喬木村における農地改革の状況	四二六
(1) 農地及び附隨施設の買収状況	四二七
(2) 買収農地の区分	四二七
農地等の売渡し状況	四二八
農地等の交換分合	四二九
農地調整諸問題	四二九
緊急開拓事業と喬木村の入植者	四二九
<b>第七節 国土調査</b>	
1 調査の目的及びその概要	四三一
2 調査機関及び経費負担	四三三
3 計画と実施状況	四三三
<b>第八節 明治以降の凶作及び災害</b>	
1 明治以降の災害及び凶作記録	四五四
(1) 昭和三四年九月二六日台風一五号	

による本村の被害	四三六
(2) 昭和三六年梅雨前線集中豪雨による 喬木村の被害	四三六
2 災害対策	四三八
(1) 治山治水事業の施行	四三八
(2) 泰阜ダム被害対策、補償要求	四三八
(3) 昭和三六年六月、梅雨前線豪雨の災害補償	四四一
<b>第九節 農業諸機関</b>	
1 農業会	四四三
2 産業組合	四五五
3 農業会	四四六
4 農業協同組合	四四七
5 農地委員会・農業委員会	四五〇
農地委員会	四五〇
農業委員会	四五一
<b>第一〇節 村の金融機関</b>	
1 農村の金融	四五一
2 賃屋・金貸	四五二
3 頼母子講	四五三
備荒貯蓄及び開產社	四五四

## 第三章 喬木村明治以降の林野問題

四五七

第一節 明治以降の林野紛争	四五七
2 「部落有財産統一」への過程	四五四
(1) 「入会権」の質的変遷	五〇四
(2) 「部落有財産統一」とその政治的背景	五〇八
3 大正より昭和に至る山論	五一七
(1) 法廷論争	五一七
第四章 兵事	六一五
第一節 国民皆兵・徵兵検査	六一五
第二節 村の入営者	六一六
第三節 各戦役と村の犠牲者	六一七
1 西南の役	六一七
2. 日清戦争	六一七
3 日露戦争	六一七
4 第一次世界大戦	六一八
5 シベリア出兵	六一八
6 濟南事変	六一八
7 滿洲事變	六一九
8 日支事變・太平洋戦争	六一九
9 戰没者氏名	六二二
10 忠魂碑	六三九
第四節 兵事と諸団体	六四〇
1 在郷軍人会	六四〇
2 兵役優待会（銃後奉公会）	六四一
3 大日本国防婦人会	六四二
4 愛國婦人会	六四二
5 和解への動き	五六八
(3) 和解判決及び分割処理	五七三
4 他町村への入会権解消	五九八
第二節 小川耕地財産区	六〇五
1 財産区制度の沿革	六〇五
2 小川耕地財産区の成立	六〇六
第三節 村有林野の委託管理	六一

1 和解への動き	五六八
(3) 和解判決及び分割処理	五七三
4 他町村への入会権解消	五九八
第二節 小川耕地財産区	六〇五
1 財産区制度の沿革	六〇五
2 小川耕地財産区の成立	六〇六
第三節 村有林野の委託管理	六一

5 翼賛社年団	六四五	1 満洲開拓と義勇隊	六四六
6 喬木村遺族会	六四五	2 開拓地における敗戦の混乱	六四七
第五節 開拓団と義勇隊	六四六	3 喬木村における満洲開拓犠牲者氏名	六四八
第五章 交通・運輸・通信・電気			
第一節 交 通	六五一	1 道 路	六五一
(1) 里道竜東線及其他の里道	六五三	(1) 国鉄飯田線	六八五
(2) 県道編入運動及県道粟沢時又線の改修	六五六	(2) 舟 運	六八六
(3) 県道大島阿島線	六五八	(1) 南条の渡船	六八八
(4) 県道飯田富田線及富田米川線	六六〇	(2) 伊久間の渡舟	六九〇
(5) 氏乗一元善光寺停車場線	六六一	(3) 阿島の渡舟	六九一
(6) 林道赤石線、その他の林道	六六八	4 バス・諸車	六九六
(7) 村 道	六七〇	5 中央自道車道	六九七
2 橋 梁	六七六	6 喬木村交通安全協会	六九九
(1) 阿島橋	六七六		
(2) 弁天橋	六八〇		
第二節 運 輸		第三節 通 信	
1 鉄 道		1 郵 便	
(1) 中央線	六八三	(1) 阿島郵便局	七〇二
		(2) 富田郵便局	七〇二
		2 電 信・電 話	七〇四

3 有線放送.....七〇五

(1) 公社接続の開始.....七〇七

(2) 自動化について.....七〇七

第四節 電 気

## 第六章 洪水・治水・開田

第一節 天竜川筋の移動.....	七一
第二節 治水と水防技術の変遷.....	七一四
第三節 阿島堤防と開田.....	七一七
1 江戸期の阿島新田.....	七一七
2 阿島堤防と水害(明治初期以降).....	七二〇
3 田中下堤防組の創設.....	七二六
4 連合堤防.....	七二九
5 田中下堤防と新田開発(明治中期以降).....	七三二
6 セギ下堤防と新田開発(明治中期以降).....	七三六
第四節 伊久間堤防と開田(江戸後期以降).....	七四〇

# 第八編 民俗

## 第一章 生活

第一節 家	七五一
第二節 衣食住	七五三
1 衣	七五三
2 食	七五四
3 住	七五五
第三節 人の一生	七五七
1 産育	七五七
2 婚姻	七六一

## 第四節 年中行事

1 正月行事	七七一
2 春から夏にかけての行事	七七八
3 盆行事	七七八
4 秋から冬にかけての行事	七七九

## 第二章 伝説

## 第三章 方言

## 第四章 俗信と俚諺

1 俗信	八〇七
2 俚諺（言い習わし）	八〇七

## 第五章 俚謡

一一〇

### 1 伊那節

2 わらべうた ..... 八一一

### 子守唄

(1) 子守唄 ..... 八一二

(2) 手まり唄 ..... 八一三

(3) お手玉唄 ..... 八一四

(4) 天体気象の唄 ..... 八一五

(5) 動植物の唄 ..... 八一六

(6) 悪口唄 ..... 八一六

(7) まじない唄 ..... 八一七

(8) 繩とび唄 ..... 八一七

(9) はねつき唄 ..... 八一八

### 編纂後記

八二二

### 第一章 生活

廿五